

中信高原最大の湿原

七島八島湿原希少個体群保護林

設定目的

当該保護林は、八ヶ岳中信高原国定公園内で最大の湿原であり、昭和三十五年に国の天然記念物「霧ヶ峰湿原植物群落」に指定されています。湿原の上に成立する貴重な植物群落と、周辺の天然林の保護・管理をしています。

地況・林況

霧ヶ峰高原の北西端、標高約一、六三〇メートルに位置しています。深さ八メートルを超える泥炭層が堆積する、推定堆積年数約八千～一万年の高層湿原です。

シリーズ

中部の保護林(第47回)

所在地
長野県諏訪郡下諏訪町



国有林野には、世界自然遺産を始めとする原生的な森林生態系を有する森林や、希少な野生生物の生育・生息の場となっている森林が多く残されています。

国有林野事業では、1915年（大正4年）以降、こうした貴重な森林を「保護林」として設定し、森林や野生生物等の状況変化に関する定期的なモニタリング調査を実施して、森林の厳格な保護・管理を行っています。

お問い合わせ先：計画保全部計画課 ダイヤルイン：026-236-2612



※詳細は、コードを読み込んでください。